

## グループホーム パインの里

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

・自己評価 令和3年9月15日

・運営推進会議で話しあった内容 令和3年11月29日

・外部評価(書面) 令和3年2月

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・共有出来ているものの、コロナの影響でなかなか実践出来ない点もある。 ・見える所に掲示してあり、実践しようと努めているが、まだ十分に理解していない点もある。			・唱和する機会が減ったので、朝のミーティング時に声に出して意識するようにします。 ・地域との繋がりを理念にも掲げているので直接関りが出来なくても形や方法を変えて対応したい。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナの影響で日常的な交流が出来なかった。唯一町内ねぶた運行では沿道で応援し、繋がりを途切れないようにした。	・地域へのアプローチをGH側からあっても良いかと。保育園との繋がりも訪問するだけが繋がりではないので、何か作ってプレゼントや写真や手紙で日常の出来事を報告する等。 ・地域での範囲として捉えるかによって違いはあるが、対面出来なくても何かやり取り交流をゼロにしない。写真やビデオレターなど。 ・保育園や訪問する側も発表する機会が無くなり、意欲にも関わってくるので、感染対策をして発表する機会を設けてあげるかどうか。 ・外出の頻度が減り、認知症の進行の原因にもなる、何かの繋がりを作ってみて認知症の改善になる取組をして欲しい。		・年2回交流する機会があったが、行き来出来なくても手紙や利用者様と一緒に作成したプレゼントを準備して、近状報告をしたり、繋がりを継続する。(なかの保育園とGHユートピア白神にはクリスマスにプレゼントと里の一年行事や生活風景を写真にしたものを持参し、挨拶をしてきた) ・施設訪問でなく、ふれあいセンターを活用し、お遊戯会を披露してもらおう等の案も出た。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・計画したものの中止となる事が多かった。書面等で生活ぶりを伝えたり、意見を頂く事は出来たので、今後は行っていきたい。	・会議に参加する方の環境にもよるがオンラインでの開催も検討してはどうか。 ・毎月担当者から手紙や写真で見せてもらっているので、やはり何か伝える事があれば良い。 ・情報を発信する事は重要、この事業所は何をしているのか、周りは全然分からない、知らせる事は大切。 ・以前会議で避難訓練を見てもらって、意見頂いたり協力体制にも繋がったので、やはり今後も会議等を通じて協力が		・会議が中止になったからと言って何も情報を発信しない事はサービス向上に繋がらないので、文書でもいいのでGHの状況を報告していく。

					得られるような体制を整えていく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・管理者や所長を通じて連絡を取り合う事は出来ているが、密で積極的な関係とは言えない。 ・包括職員とは連携が取れている。	・何かあれば連絡しているで良いと思っている。今までは何かあればしっかり連絡してくれていたのが充分。 ・組織としては包括センターとコンタクトが取れているので充分と思われる。市の担当者に頻繁にあった方がマズイと思う。 ・この施設の特徴で包括センター長が近くにいる事で、安心出来る。気兼ねなく相談が出来る事が良いと思う。 ・包括の職員の方が相談しやすいし、実際に出来ているのでほぼ出来ていると思う。		・法人内に包括支援センターがあるので上手く活用し、連絡を取り合い相談している。これからも、その繋がりを継続していく。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・グレーゾーンも意識し、理解しながら見守りしている。 ・マニュアルや定期的な研修も受け理解を深め努めているが、業務や安全を優先し、グレーな部分もあると思う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・不適切なケアを無くす事、チームワークでしない取組を確立していく。 ・グレーゾーンの対応があった場合は大概な状況の説明をし、理解を求めように対応すべきではないかのご意見を頂く曖昧な対応ではなく、どのような経緯でそうだったかの検討も今後必要と思った。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・勉強会や研修を行い情報を共有して理解を深め、上司にも報告をする体制が出来ている。 ・時々、言葉がキツイので注意した方が良い。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・仕事が忙しかったり、心に余裕がない時にスタッフの言動がきつくなりやすいので、スタッフ間で声を掛け合いでストレスを溜めないよう、助け合う。 ・対応で問題ある人への感情移入は絶対に防止すべきとのご意見を頂く、介護のプロとして働いているので、これからも意識していきたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・制度をまとめた資料や学ぶ機会もあり、積極的な活用には至っていない。			・なかなか活用する機会がないので、定期的な勉強会をして知識を習得していきたい。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・契約時説明に時間をかけゆっくり話しやすい環境作りにも努めている。 ・面会時にも意見を求めている。			・契約時、サービスを利用する前に不安や疑問点を解決し、お互い理解し合っていきたい。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会時や個別面談時に意見、要望を頂き事業や計画等にも反映している。しかし、外部者へ表せる機会はない。法人の理事会では報告している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会時や個別面談、又はケアプラン見直し等に要望や意見をもらっている。苦情等も理事会で報告している。 ・個人の意見は増々多様性で法人が機会を設け(年1回)実施する対応で良いとご意見頂く。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・会議、ミーティング、個別面談で機会がある。 ・可能な限り検討や取り入れてもらっている。			・些細な会話の中からも職員の意見や提案を聞くようにしている。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・良くゆき届いていると思う。 ・個別面談時時に把握してもらっている。 ・整備や取り組みには努めていると思う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・半年に1度、自己評価・人事考課・育成面談を実施し、全ての内容を法人理事長が目を通し、職員個人の能力や実績の把握に努めている。育成面談の中で将来はどのような職員になりたいかを明確にする機会を設けている。 ・人材はもっとも必要な資源である。形ある諸条件は事より業務についての評価はより公平、男女平等に取り扱うようにとご意見頂く。年数や経験の他有資格にあった評価方法(絶対評価)で行っている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・オンラインを上手く活用し研修を受ける機会の確保がされている。 ・外部研修を受ける機会が減ったが、必要と思われる研修は受けるように法人に相談し、オンライン研修を受けた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職場内研修は毎月実施、ユニット内勉強会やGH合同勉強会も実施している。外部研修が減ったが必要な研修はオンラインにて受講している。 ・職員は業務に係る資格試験を学び資格を持って仕事をしている。個性をある程度把握して自己充実の実現にも応援する事が求められる時が近づいているとご意見を頂く。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・以前から多いとは言えなかった ので、コロナによりほぼ無いと言える。			・以前から包括支援センター主催の研修会や事例検討等の場を設けて頂き、GHに限らず様々な医療や福祉、警察、薬局、地域とのネットワーク作りの一員として引き続き参加させて行きたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・意見を尊重し信頼関係が築けるよう努力した。 ・一人ひとりの役割を活用し、コミュニケーションも図れている。 ・自分たちの都合で介護している部分もある。			・里の利用者様も自立者も多くなり、作業の手伝いや色々な活動も可能になって来た。共に助け合いケアが出来る仲間作りになりつつある。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・1日1日が新鮮に物を見て感動したり、初めての場所になるので、繋がりを持てるように努めている。 ・コロナの影響で思うように援助が出来なかった。	・外に出れなくても施設の中でできる物を考えてはどうか。写真やビデオで繋がりをもってもらおう等。 ・今の状況下ではしょうがないのではないかと。認知症の進行防止もあると思うが仕方ない。 ・コロナ禍でなければほぼ出来ていると思う。 ・リモートやビデオ活用で果たして利用者様がリフレッシュ出来るかどうか？疑問ではあるが今出来る事を確実にやる事が大事。月に1回は家族訪問しているので、対面は出来ているので継続してもらいたい。		・感染予防対策で仕方ないが、外に出る会う、直接出向かなくても関係が途切れない方法はたくさんあるので、感染状況を見極め可能な限り実施していく。
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・会話の中から希望や意向をくみ取るようにしている。 ・対話にて思いを把握努めるも本当の思いなのか苦慮する部分もある。 ・生活歴などで把握している。 ・希望に沿えない時は活動や食で季節を感じてもらおうようにした。			・なかなか自分からきちんとした言葉で希望や意向を伝えてくれる方はいない。会話の中や生活歴からご本人の思いや意向を探り、把握に努めている。

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人、家族からも要望を聞き、役立てている。	・十分にできていると思われる。何かあれば連絡や通信で知らせてもらっているので良く分かる。 ・十分に出来ていると思う。丁寧にしてもらっている。 ・会議の中でも職員間の意見が反映されたり、利用者様やご家族の要望にも応える取り組みが出来ている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今まで取り組みを継続し、GHスタッフのみでなく、在宅のケアマネや主治医からも意見を頂きそれぞれのアイデアを反映する。 ・入居者本人への対応は重要ですが、課題とケアの達成の評価方式が必要とご意見を頂く。介護計画には解決すべき課題を抽出し、それを解決するために目標を立てる(長期目標と短期目標)目標を達成するためにはどんな事をするのかを明確化する。目標達成期間で達成できたかどうかモニタリングしている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・記録の他、申し送りノートを活用し、口頭での報連相を行い共有。 ・会話内容も細かく記入し、気づきに活用。 ・担当者会議にて見直しや情報共有出来ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・せっかく作成した計画も反映されていない点があるので、出来た時点でケアプラン内容を周知するように計画作成担当者が実施する。 ・入居者の内面に係る心理、活力、個性の多様性への対応、記録は非常に難しいとご意見頂く。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個々に合った柔軟な対応は出来ていると思われる。特に重度化した場合のケアや退院時の受け入れ体勢等は様々なサービスと協力し合っている。	・スタッフのスキルアップ目的に外部から講師を招いてもらう。 ・GHとしてだけでなく、様々な事業所があるので色々な経験を持っている職員を定期的に異動することでスキルアップにも繋がるし、勉強や利用者のためにもなるのでは。 ・職員の人数は足りているか？他の助けはできるのか？(併設の事業所で協力してくれる)		・里の良い点は軽度の方から重度の方まで安心して暮らせるGHと思っている自分たちで出来る限り対応していきたい。特養、ヘルパーからの経験者あり、様々な知識や経験を共有していく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナの影響で楽しむ事が少なくなりました。地域の季節をドライブで感じたり、食で味わってもらった。	・施設内でできる事って何だろう、手工芸などはどうでしょうか。 ・地域資源の範囲がどこまでか？施設で対応できるキャパは？利用可能な資源をリスト化し、コロナ禍が解消したら使えるようにしてみる。 ・新たな地域資源の検討をイメージしておく。 ・保育園やボランティア、東目屋地区、地		・市の事業資源は可能な限り利用したい。観光の名所が沢山あるので、活用している。ボランティア活動はどのような物があるのかを把握していないので、リストアップし必要な時に活用出来たら良い。

					域だけの資源も少ないのではないかと、新たなスタイルも考える必要あり。今は考える期間にしてはどうか。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナの為に回数を減らしたり代理通院等で支援した。指示に従い本人通院も適切に受けれるようにした。			・在宅で通い慣れていた病院をそのまま継続できるようにしているが、通院時間が長い場合は変更させてもらっている。ご本人の通院が必要な時以外はスタッフ代理で対応し、負担軽減や感染防止対策としている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・どのレベルなら受け入れ可能かをしっかりと伝え、早期退院あるいは次のサービスへの手伝いなどに努めている。医療連携室とのやり取りを多くしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・病院側と相談しながら、GHでの対応範囲を伝え早期の退院に繋がるように配慮した。環境が変わると急変するので、出来れば早い段階で退院してGHへ戻って来てもらいたいが、高齢なので様々な病気を併発してしまう。 ・個々の情報交換と相談内容の評価を担当が見て示す時の評価の優先性と重要性を数値で示す事が適切と考えたとご意見頂く。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所時に大まかな方向は決めているがその時々々の段階に合わせて話し合っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居時に大まかな方向性は決めている事は継続しつつ、定期的に今の状況や重度化になった時の対応、看取りのお話しなどもお互いに理解し共有したい。 ・この場合の対応については大まかな事項重要事項で十分と考えたと意見を頂く。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人の看護師の協力もあり、対応し連携もとれている。 ・マニュアルも整ってはいるが確実に実践力が身につけているとは言えない点もある。 ・自信が持てるようしっかりと訓練を受けたい。			・併設のデイサービス看護師を講師に急変時の対応を学び、実践力を身に付けている。避難訓練と同様、初動訓練を定期的実施していく。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・マニュアルに沿った行動がとれるように努めている。想定したものを書面で意見交換もしている。 ・シミュレーション出来ている。	・マニュアルもあり、定期的に訓練も行っているので充分である。 ・以前の会議の中でも話題になり、取り組んでいるので良いと思う。 ・この地域は比較的災害が少ない方なので、火事だけは十分に注意して欲しい。 ・市のハザードマップを参考にすると川が決壊した際は5メートルまで浸水する予想。利用者様が安心して生活できるように法人でもマニュアル作成中。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・災害時における事業継続が出来るようマニュアルを法人で作成し、夜間帯の方法は協力が必要なので、体制をしっかりと整えておく。 ・現状で想定される事項を限定し、対策をすること。災害を恐れることは必要ないと考えると、ご意見頂く。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・少し言葉がキツイ点もある。 ・不快にならないように言葉掛けは慎み、尊重に努めている。 ・それぞれに合わせた声掛け工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・尊厳を尊重し、それぞれ利用者様の個性や性格に配慮した言葉掛けをするよう工夫する。不適切なケアに繋がるので十分に注意する。 ・人は感情の生物として基本的な人権は守る、個々へは生活上の自然体の付き合いで可としたい。とご意見頂く。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日課や役割を無理強いせず、その日のペースやリズムに合わせている。 ・出来るだけ希望を聞き援助しているスタッフと把握していないスタッフがいる。 ・感染症対策の都合を優先している所が今は多い。			・職員の都合を優先しがち、今一度本人のペースを大事にする支援を見直したい。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・能力や意欲に合わせて提供、楽しみ生き甲斐が得られるようにしている。 ・好みを活かした内容になっていない。 ・感染対策で黙食となり楽しみが減った。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様の得意な部分を発揮してもらいながら一緒に準備を継続中。可能な範囲で好みに合わせる事も出来ているので、このまま続けて行きたい。 ・日々の中で食事が楽しみの一つと思う。個々の体調や体質を考えて提供することとご意見頂く。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・水分量、喫食量共によく観察している。情報共有して必要量の確保できるよう、体調も配慮しながら支援している。			・水分量、喫食量共によく観察している。情報共有して必要量の確保できるよう、体調も配慮しながら支援を続ける。

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎食後行う事が出来ている。 ・見守りや一部介助、全介助と個々に合わせた介助が出来ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・口腔ケア加算も頂いているので、歯科医師の助言を参考に毎食後の口腔ケアを個々の能力に応じて介助し、口腔内の清潔保持をしている。 ・入居者の要望希望を大事に対応しているとご意見頂く。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・大体の排せつパターンを把握し、個々にあった排せつ用品、排せつリズムでトイレに誘導している。 ・便秘予防に水分を多めに飲用したり、牛乳や乳製品等を提供している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・座位保持可能であれば、トイレに排せつしてもらっている。紙パンツから普通の下着にしたり自立支援している。 ・排せつ用品は利用者様負担になっているので、できるだけ費用の負担を少なくなるようにも考慮しながら、自立に向けた排せつ支援をしている。 ・入居者の要望希望を大事に対応しているとご意見頂く。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・週2回の入浴で特に不満が出ていない。利用者からの要望は特にない。 ・通院や行事等で時間や日にち変更は事前に伝えている。 ・ゆっくり入りたいと希望する方も湯あたりするので、声掛け工夫し早めに上がってもらうなどの助言はしている。			・現時点では利用者様から希望が聞かれない為、午後入浴で対応中。入浴拒否する方には様々な時間帯に声をかけて入りたい時に入れるように工夫している。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・横になるように休息を勧めたり、夜間でも寝付けられない方には話し相手となっている。 ・安眠を妨げないよう見守り出来ている。			・利用者様の習慣を考慮しながら休息してもらっている。昼夜逆転傾向になる方にも状況に合わせて対応している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬情報ファイリングし、確認出来ているがまだ、十分に把握出来ていないスタッフもいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬 boxに入れる段階と手渡す段階に名前や日付、必要な薬が揃っているかを確認し、手渡す時は2人で間違いがないか本人に手渡されているか、飲み込んだか確認し、誤薬防止に努めている。 ・日々の服薬方式を守り実施。特に飲み込み時の確認に注意することが大切なのではないかと考えられると助言を頂く。



35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個々の話題提供時に興味のある事で気分転換もしている。冗談が好きな方や歌が好きな方など張り合いあるよう支援している。	・問題ない、一人一人に合った支援がなされている。 ・生活歴の中からどんな活動や役割が適しているのか確認してもらっているので良い。 ・ほぼ出来ていると思う、現場を見学した時に皆さん明るく笑顔になっていた。 ・職員もベテラン揃いで個性溢れる楽しめる内容をいつも提供している。個性がぶつかり合う事もあると思うが、上手く活かして利用者様の処遇に活かして欲しい。		・入居者への話題提供時に興味のある事で気分転換もしている。冗談が好きな方や歌が好きな方など張り合いあるよう支援しているので継続中。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナの為減ってはいるが可能な限り行っている。	・コロナ禍ではあるが外出は出来ているので継続して欲しい。旅行のテレビや季節を味わえる映像を見て気分転換を。 ・近隣へのドライブにも可能な範囲で行っているので、良いと思う。 ・連れて行くにも歩ける人が少ない、出かける為には車で出かけると人数にも限りが出る。皆で賑やかに出掛けれる時期が来れば良い。 ・外出の頻度が減ったが病院へ行く際などもご家族の支援や協力体制を継続していきたい。		・季節にあったドライブや一代様巡りなどを行っていたので、これからも出かけられるように支援し、通院などのご家族が協力して頂ける所は手伝ってもらうように継続する。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・訪問販売や買い物外出が無くなり機会が無い。 ・所持したい方には渡している。			・利用者様の能力に応じて支援出来ている。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・手伝いしながらプライベートな会話時は席を外し、手紙のやり取りはもらうだけで返信にまで至って居ない。今後はスタッフ代理で行なうのも良いと思われる。			・毎月通信を作成している。利用者様が伝えたい事等も載せていきたい。電話での会話は支援出来ているが、手紙の返信の支援が疎かになっているので、ぜひ支援したい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・感染予防対策で間隔を開けてソファを配置した。少々ホールが窮屈である。季節感ある飾りは良く出来ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様の馴染みのある季節の行事を感じてもらえるような掲示物をしたり、飾りつけを継続中。 ・居室が分かりやすいように、目印をつけたりして自立支援もしている。 ・地域の四季が分かるように対応することは重要なのではないかと考えられるので今まで通り実施することと助言頂く。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・現在の状況下では制限されている。面会や外出が減った。 ・認知症という側面あり、的確に意向を訴えているとは限らず、支援内容も全ての意向に沿った物とは言えない。			・入居者様の思いや願いに沿った支援が出来るように寄り添うことを大事にしたい。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴、特徴は把握しているのでケアに活かされている。 ・アセスメントに基づき観察した情報を活かし適切な支援内容を提供出来ている。			・生活歴、特徴は把握しているのでケアに活かす事が出来ている、特徴や習慣にも配慮しているので、継続したい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・観察し気付いた内容を情報共有する事で適切な支援内容を提供できている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・適正にケアや支援が出来ていると思われるので、継続しより良いケアに繋げられるように日々努力している。 ・入居者は人、物、食への認知が不可になる方がおり、観察し気付きが大切と考えたとご意見頂く。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・出来るだけそれまでの習慣を継続してもらうように支援している。			・グループホーム内で今まで暮らしてきた習慣を継続出来るような支援をしている。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家に居た時の馴染みある物を持ち込んでもらうように働きかけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家に居た時の馴染みある物を持ち込んでもらうように働きかけ、利用者様の個性がある空間になっている。 ・老いては人に従い…気づき、記憶は昔へ戻って思い出に浸る方が多いと聞いて大切にしたい対応が必要だと考えられるとご意見頂く。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナの為に控えて頂いた。 ・こちら側の都合で希望に沿う事が出来なかった。	・なるべく叶える方向で色々な方法があると思うので考えて欲しい。 ・自分の意思を表現できる能力が残っているか、意欲も低下している中で本人から求める事が出来るか。企画し実行してみて良かったら、また行きたい、やりたいと言ってもらった方がいいのでは。 ・自分で行きたい、あれしたいがうまく伝えられないのでは。本人の意向をどうみ取るか確認し、提供してから意欲を引き出す。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・能力に合わせた役割や余暇活動を提供し支援出来ている。 ・やってきた事はやってもらったり、やってくれる環境を作っている。 ・分かっている、出来ると装う方もいる。			・能力に合わせた役割や余暇活動を提供し支援出来ているが、やってきた事が出来なくなる事もあり、さり気なくカバーし配慮している。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・交流支援や会話のきっかけ作りなどの支援している。 ・活動の場面を持ってもらうように時間を設けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者ごとに役割ある生活を送ってもらうことで必ず活動や活躍してもらえらる場面を作っている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナの為ほぼ無し。	・2番と同じで、交流する機会を作ってあげる事が出来れば良い。 ・コロナでなければ何でも出来る。感染対策を守れば場を提供してもいいのでは。 ・コロナが続く中、検討段階である。交流好きな利用者様もいるので、能力低下にならないように日頃できる事は何かを探って欲しい。		・毎年行っている交流をいつでも再開できるように計画しておき、出来ない時は繋がり(町会長さんからのリンゴ差し入れなども伝え)を実感してもらうように働きかける。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自由にならず不満も少なからずあると思うが安心の日々、より良い日々が送れていると思う。 ・コロナの影響で地域の人々と接する機会が減ったが感染予防も出来ており健康で将来早く、前の様な地域に向く生活が戻れば良い。	・A でも良いと思う、出かけるだけが良いわけではない。家族としても頼っている。 ・A でも良い。入所してから介護度が進行しているが衣食住支援してもらって感謝している。 ・利用者様とスタッフが仲良くやっているのが良い。 ・コロナ禍で模索しながらも良くやっていると思う。それを見ているご家族や地域の方々の協力も出来ているので、良いと考える。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・安心、安全、より良い暮らしが続くように皆様からの意見や助言を取り入れながら、サービスの向上に努めるようスタッフ一同取り組んでいきたいと思えます。 ・GH 内の職員関係者の入居者への対応が充実している為安心して日々を過ごしていることが出来ているとご意見頂く。